

NY京都倶楽部 ルーズベルト島で 花見と野点の会



ニューヨーク京都倶楽部は24日、ルーズベルト島で「花見と野点の会」を開催した。約35人の家族や友人連れ。約35人の家族や友人連れの会員は、八重桜の花が舞うなかでお弁当を広げて楽しんだ。芝の上には赤い傘を立て、ござと緋毛氈（ひもうせん）が敷かれ、表千家流講師の北澤恵子さ

んとその社中の方々による野点が披露された。野外に設えられた本格的なお茶席に、参加者たちは膝を揃え、背筋を伸ばしてお抹茶をすすった。

北澤さんは「亭主8割客2割」と言いますが、いろいろと趣向を考えお客さまをおもてなしすることが茶道の楽しみです」と説明した。この日の趣向は「桜」。桜の花をあしらった着物、花びらの象嵌（そうがん）が施された棗（なつめ）など茶道具にも気を配り、北澤さん手作りの心のもつた桜色の干菓子のおもてなしに、参加者たちは春の盛りりの雅な気分を味わった。